

平成21年1月28日 自治会長会 質疑応答及び結果

1 自治会役員の選出について（敬称略）

会長 齋尾正憲（国坂）
副会長 種子至剛（西園）、遠藤公良（松神）
評議員 池田雅文（江北）、稲本恒博（田井）、駒井文男（みどり南団地）
辻 正男（大島）、村岡純郎（亀谷）、竹森忠司（由良宿4区）

2 音声告知器の工事は不在でもしていただくことはできないか。 世帯主又は誰かのサインが必要なので、土日でも夜でも対応するので、不在の時には行わない。また、大栄地区に入るときには、自治会長にも事前に連絡する。

入院とか老人ホームにいる人の対応は。 留守の家には入らないので、連絡がつき次第実施する。また長期に渡り不在の人については、役場で対応したい。

3 高齢者世帯の火災警報器の設置は自治会で行わなければならないのか。 設置は民生児童委員さんをお願いしている。民生児童委員さんから要請があった時には協力していただきたい。

4 健康推進員の会合は夜行ってほしい。 2月13日午後7時からを予定している。

5 特定検診の受診率が低いが、自己負担分を町でみてはどうか。そうすれば受診率が上がる。 自己負担分を町費で補填することはできない。農繁期等のために受診率が低かった等の要因が挙げられる。今後は自治会役員さんと連携をとり、受診率アップに努めたい。

6 事業所からも区費に準ずるものをいただいているので、ごみ袋を配布できないか。事業所には小口融資の利子補助等別の対策をされており、ごみ袋は住民支援として行っているため、事業所には配布できない。

自治会に加入していない人に対する配布はどうするのか。 郵送するようにしている。

7 自治会費を減らすよう住民から要望があるが、募金関係を減らすことはできないか。提示させていただいているものは、あくまで目標であり、強制するものではない。し

かし、本来の募金の趣旨に返っていただき、区費から出すのではなく、世帯ごとに集めていただくのも一案ではないかと思う。

8 町の放送をもっと簡潔にできないか。 北条・大栄地区の放送施設の統一により、啓蒙的な放送は除くようにしているが、再度検討したい。

9 新たに自主防災組織を作るのではなく、自衛消防を活用すればいいのではないか。総括的に行うには自主防災組織が必要である。災害時支援のためにも情報の共有化を図りたい。

10 火災警報器を設置した時には、報告が必要か。 報告義務はない。

11 筋ジストロフィー協会とか肢体不自由児父母の会等からカタログ販売をしてほしい、との依頼が年に3回程度ある。本当にそのような団体があるのか。 電話をしてもらえるのは大阪の業者が多く、実在する団体と契約をしており、団体にも手数料が入るようになっている。

12 町の体育館を民俗資料等の置き場にさせてほしいとの協議があったが、自治会としては体育館として残してほしい。(瀬戸自治会) 検討する。

13 砂丘まつりは今年も行うのか。また、お金がないのなら、花火を減らすべきではないか。 実行委員会で検討されており、実施される方向である。合併し北栄町の元気を内外に示すためにも、花火はぜひ続けていただきたいと考えている。今後実行委員会ともよく話し合っていきたい。